

政策シート

(政策名) 消防団の防災体制の充実
(予算費目名) 消防団費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり

◇政策の概要

地域の火災等の災害に迅速に対応できる消防団の防災体制の充実に向け、消防団庁舎の維持管理や消防団員の活動環境の向上を図る。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	504,454
	決算	
	事業費 (A)	469,254
	人件費 (B)	35,200
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
消防団活動に対する費用弁償の支給率	%	100	目標	100
			実績	
消防ホースの配布分団	%	100	目標	100
			実績	
消防団員等公務災害補償等共済基金への加入率	%	100	目標	100
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	消防団活動事業		○		289,266	283,666	0.8				
2	消防団施設運営事業		○		19,427	15,227	0.6				
3	消防団員福利厚生事業				165,773	161,573	0.6				
4	消防団運営経費				29,988	8,788	2.0	2.0			
計					504,454	469,254	4.0	2.0	0.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 消防団活動事業

◇事業目的・事業対象

消防団活動に対し、必要な費用の支出や被服の貸与を行い、消防団員の安全な活動を推進するとともに、消防団員の士気高揚と活動への市民の理解を深めることを目的とする。

◇事業の概要

- 消防団員出動等活動事業
消防団員の災害出動等の活動に対し費用弁償を行う。
- 消防団運営管理等交付事業(交付金)
消防団の円滑な運営管理を図るため消防団に対し、運営に要する経費を交付する。
- 消防団員被服整備事業
消防団員の活動上必要な被服及び付属品を消防団の基準に基づき貸与し、団員の活動の安全性向上を図る。
- 出初式開催事業
新年の消防演習として、消防装備、訓練等を市民に披露することで、消防活動及び防火防災についての理解を得るとともに消防職員及び消防団員の士気高揚を図るため、消防出初式を挙げるもの。
また、式典にて優良な消防団及び消防団員に対し表彰を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和23年	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防団に関する条例	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	283,666
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	3,370
	一般財源	280,296
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	5,600
人工	正規	0.8
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
消防団員に対する費用弁償支給率		100%			100%
消防団員に対する被服支給率		100%			100%

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 消防団施設運営事業

◇事業目的・事業対象

老朽化や耐震性の劣る分団庁舎の建替えや改修を行うとともに、消防団活動用の資機材整備を行い、地域の消防防災拠点として充実強化を図ることを目的とする。

◇事業の概要

- 消防団施設維持管理事業
消防分団庁舎を適切に維持し、災害発生時の即時対応に支障のないよう維持管理する。
- 消防団庁舎整備事業
老朽化した分団庁舎の改修を行い、地域防災拠点としての整備及び庁舎環境の改善を図る。
また、火災、人口動態など、地域の実情を考慮し、庁舎の統廃合等適正な配置を計画する。
- 消防団資機材整備事業
消防団活動上必要な資機材等を更新する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和23年度	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	15,227
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	1,620
	一般財源	13,607
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	4,200
人工	正規	0.6
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
消防ホースの配布分団		81			81

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 消防団員福利厚生事業

◇事業目的・事業対象

地域防災の要である消防団員の福利厚生を図るとともに、消防団員等の公務災害に対応し、十分な補償を確保し職務に専念できるようにすることを目的とする。

◇事業の概要

- ・消防団員退職報償金支給事業
退職した消防団員に対し、階級及び勤務年数に応じた退職報償金を支給する。
- ・消防団員等賞じゅつ金等支給事業
災害活動において死亡した消防団員と遺族に対する賞じゅつ金及び休業補償支給者のうち7日以上休業した消防団員に対して見舞金を支払う。
- ・消防団員等公務災害補償等共済事業
消防団員の福利厚生を図るとともに、消防団員等の公務災害に対し、十分な補償を確保する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和30年度	-	一般会計	自治事務(法令義務)	浜松市消防団員等公務災害補償条例他	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	161,573
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	70,673
	一般財源	90,900
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	4,200
人工	正規	0.6
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
消防団員等公務災害補償等共済基金への加入率		100%			100%

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 消防団運営経費

◇事業目的・事業対象

消防団運営に必要な訓練会場の借上、消耗品の購入(装備品等)、郵便料等に係る経費を確保し、円滑な活動を行うことを目的とする。

◇事業の概要

地域防災の要である消防団の運営に必要な訓練会場の借上げ、消耗品の購入等を行う。

- ・訓練に対する経費
 訓練場所確保のための会場借上げ
- ・消防団活動に必要な消耗品等の購入に係る経費
 装備品、消防団員手帳等の購入
- ・静岡県消防協会西遠支部負担金
 県下消防団が連携し消防知識技術の向上を図り、消防活動の充実強化並びに消防団員の福利厚生等を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和23年度	-	一般会計	自治事務(法令事務)	浜松市消防団に関する条例	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	8,788
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	8,788
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		21,200
人工	正規	2.0
	再任用(h31)	2.0
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
団本部、支団本部員に対する消防団員手帳の支給		100%			100%

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み